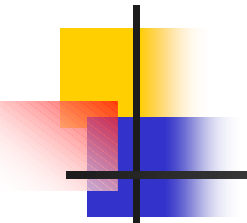


《 JICAによる事業化調査の経緯 》



1981年8月から日本政府(実施機関:JICA)は20余名の専門家を派遣、中国側専門家と共同して事業化のための調査・測量・計画・設計に当たった。

1984年3月、JICAは「中国三江平原龍頭橋典型区農業開発計画を策定し実施することについての調査研究報告」を提出した。

《 民間協力の経緯 》

1988年10月、新潟県日中友好協会が、三江平原地域の外資導入農業総合開発計画現地調査のため「三江平原開発調査団」を派遣した。

1990年10月、新潟県日中友好協会が、三江平原地域の外資導入農業総合開発プロジェクト検討のため「黒龍江省農業代表団」を受け入れた。

1991年7月、新潟県日中友好協会並びに日中東北開発協会が、三江平原龍頭橋典型区農業開発計画に対する日本政府開発援助(ODA)の可能性見極めのため「三江平原総合開発視察団」を派遣した。

「三江平原総合開発視察団」一行と会見する田紀雲副総理



1991年7月12日、田紀雲副総理が「三江平原総合開発視察団」(団長:佐野藤三郎)と会見し、“この案件については私が直接扱う。黒龍江省から直接私のところに案を持ってきてよい。”と明言した。



《 日本政府円借款供与に至る経緯 》

1991年8月、三江平原龍頭橋典型区の農業総合開発を目的とする“龍頭橋ダム建設プロジェクト”が黒龍江省の重点プロジェクトに位置づけられ、黒龍江省政府より国家計画委員会に対し「龍頭橋ダム建設プロジェクト建議書」が提出された。

1992年10月22日、国家計画委員会に提出した「龍頭橋ダム建設プロジェクト建議書」が『黒龍江省円借款利用龍頭橋ダム建設項目』の名称で同計画委員会の正式批准を得た。

1994年2月、第四次円借款供与希望リスト(計71案件)が中国側から提示され、「黒龍江省三江平原商品穀物基地建設及び龍頭橋ダム建設項目」として本プロジェクトが包括された。

1994年12月、日中高級事務レベル協議において、龍頭橋ダム建設プロジェクトを含む第四次円借款前三年分計40案件(総額5,800億円)の供与が決定された。



《 日本政府円借款供与に至る経緯 》

中国が包括的核実験禁止条約(CTBT)に加盟したことを受け、日本政府の対中政府開発援助実務協議が再開された。

1996年12月26日、日中両国政府は「黒龍江省三江平原龍頭橋ダム建設事業」に対して30億円を供与する円借款協議書に調印した(1996年度供与案件)。

龍頭橋ダムの位置



《 建設段階の経緯 》

黒龍江省水利水電勘测設計研究院は、1997年6月から「龍頭橋水庫工程基本設計」に着手した(同年11月に完了)。

1997年11月12日、中国国務院水利部は「龍頭橋水庫工程基本設計」を承認、着工準備作業に着手した。

1998年3月3日、中国国務院の批准を得て中国国務院が建設工事の開始を指令した。

1998年4月1日、龍頭橋ダム建設工事が始まった。

2002年10月20日、龍頭橋ダムの供用が開始された。